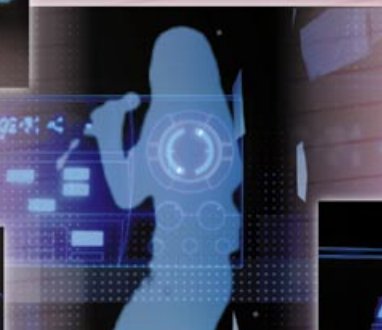


ECHO

Vol. 14 第28期中間事業報告書
平成14年4月1日～平成14年9月30日





代表取締役社長
保志 忠彦

株主の皆様へ。

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと拝察申し上げます。
このたび第28期中間期（平成14年4月1日～平成14年9月30日）を経過いたしましたので、「第28期中間事業報告書」をお届け申し上げます。

■ 当中間期の概況

当中間期のわが国経済は、ワールドカップ特需や輸出増加への期待から一時的に明るい兆しが見えたものの、その後の米国経済の減速、金融機関の不良債権問題、株安など先行きに対する不安から景気は依然として低迷し、前期にも増して厳しい状況で推移いたしました。

当カラオケ業界におきましても、長引く景気低迷から主力のナイト市場やカラオケボックスなどデイ市場の経営環境は依然として厳しく、店舗の淘汰が進行する一方メーカー間や事業者間においても生き残りをかけた企業合併や業務提携などが進み、併せて商品の低価格競争も一段と激しさを増す状況となっております。

この様な環境のなか当社グループは、通信カラオケ市場での更なるシェアアップを達成するため、主力商品「サイバーDAM (DAM - G50)」と、目次本とリモコン機能を一体化させた電子目次本「デンモク」を中心に販売及び賃貸の拡大に注力する一方、カラオケルーム運営事業やコンテンツ事業並びに前年下期から新たに加わった音楽ソフト事業など、カラオケ事業を核とした総合音楽ビジネスの確立を目指し積極的な事業展開を進めてまいりました。

以上の結果、当中間期の売上高は、新規事業区分「音楽ソフト事業」が加わったことで前年同期比34.9%増加の58,447百万円と大幅増収となり、利益面におきましては、販売費及び一般管理費の増加を売上高の伸長による増益で吸収し営業利益は前年同期比17.2%増加の5,960百万円、経常利益は前年同期比16.6%増加の5,460百万円となりました。また、中間純利益におきましては特別損失に株式売却損などの計上があったものの前年同期比21.9%増加の2,325百万円となり増益を達成いたしました。

■ 通期の見通し

通期の見通しにつきましては、生産、輸出ともに弱含み、雇用環境も依然として不透明なことから先行きに対する不安は更に強まりつつあり、個人消費の急激な回復も当面見込めない状況で推移するものと思われまます。

当業界におきましても経営環境は依然として厳しく、ナイト市場やデイ市場の店舗閉鎖や事業撤退など市場規模の拡大が容易に望めない状況下、メーカー間の二極化がより鮮明になりつつあるものと思われまます。

この様な環境のもと当社グループは、業務用カラオケ市場におけるトップシェアを一段と拡大するため商品の品質向上や差別化、サービス内容の充実を更に進めてまいります。10月には映像・楽曲の充実はもとより音響、信頼性、将来性にも優れた新商品「NEWサイバーDAM (DAM - G50 II)」を発売し、新旧カラオケ機器の入替えなど更新需要を喚起し、当下期におきましても上期並の出荷の達成を目指してまいります。カラオケルーム運営事業におきましては、新規出店と不採算店舗の閉店をバランス良く実施し、サービス向上による来店客数の増加に努め、収益性の改善と投資効率の向上に取り組んでまいります。コンテンツ事業におきましては、衛星放送事業の早期黒字化のため業務用契約の増加に努めるとともに、eビジネス事業の収益拡大のため効果的な販促活動を行うなどして加件数の増加に努めてまいります。音楽ソフト事業におきましては、レコード会社2社（日本クラウン(株)、(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ）の営業部門を、9月に設立した新会社「(株)ファーストディストリビューション」へ移管し、営業力の強化と効率化を図ることで収益の向上を目指してまいります。

以上の諸施策を実行することにより、通期の業績につきましては売上高1,140億円、経常利益103億円、当期純利益46億円を計画しております。

セグメント別概況

事業の種類別セグメントの概況は、以下の通りであります。

業務用カラオケ事業

売上高 29,361百万円（前年同期比 + 12.3%） 営業利益 4,893百万円（前年同期比 + 10.4%）
当事業におきましては、商品の低価格化が進むなか、主力商品「サイバーDAM」が価格と性能において広く市場に受け入れられ、ディスク型カラオケや通信カラオケの初期モデル機種からの買替需要を取り込み、併せて電子目次本「デンモク」の好評が奏功し、出荷台数が前年同期を34.5%上回るなど好調に推移いたしました。また、これに呼応して情報提供料収入も稼働台数の増加に伴い順調に伸長いたしました。一方、カラオケ機器の賃貸件数は増加したものの賃貸料金の低下傾向は変わらず賃貸収入は僅かながら減少いたしました。この結果、当事業の売上高は前年同期比12.3%増加し、営業利益におきましても前年同期比10.4%の増加となりました。

カラオケルーム運営事業

売上高 11,170百万円（前年同期比 + 5.7%） 営業利益 693百万円（前年同期比 + 39.7%）
当事業におきましては、カラオケ参加人口の減少や事業者間の過当競争など依然厳しい経営環境が続くなか、減少を続けていた来店客数が当中間期において増加に転じるなど、当社グループが目指す顧客志向の質の高いサービスの提供が着実に実ってきているものと思われまます。また、当中間期におきましては不採算店3店舗を閉鎖するとともに、投資効率を重視し大型店1店舗の新規出店と同業他者より譲り受けた4店舗を新規開店いたしました。この結果、当事業の売上高は新規出店効果もあり前年同期比5.7%増加し、営業利益におきましては既存店の健闘もあって前年同期比39.7%の増加となりました。

コンテンツ事業

売上高 5,054百万円（前年同期比 + 20.6%） 営業利益 756百万円（前年同期比 + 36.6%）
当事業におきましては、衛星放送事業のプラットフォーム「スカイパーフェクTV」の加入件数がワールドカップ放映の効果で一時的には増加したものの、昨年の民生用サービスの番組改編が大きく影響し当社が提供するサービスの加入件数は遞減傾向にあります。一方業務用サービスにおきましてはその加入件数は堅調に増加しております。また、eビジネス事業におきましても、携帯電話向け着信メロディーサービスの低価格化が進むなか、加入者の増加数は若干前期を下回ったもののほぼ順調に推移いたしました。この結果、当事業の売上高は前年同期比20.6%増加し、営業利益も前年同期比36.6%の増加となりました。

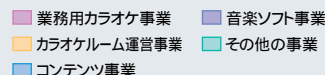
音楽ソフト事業

売上高 10,543百万円 営業利益 363百万円
当事業におきましては、音楽CD市場の冷え込みが続く厳しい環境のなか、前年下期より子会社化したレコード会社2社の経営基盤の強化を図るため事業再編を進める一方、日本クラウン(株)所属アーティスト「Gackt」のアルバムや株式会社徳間ジャパンコミュニケーションズにおける「千と千尋の神隠し」の映像ソフトの販売好調が収益に大きく貢献いたしました。この結果、当事業の売上高は10,543百万円、営業利益は363百万円となり前期の営業損失を大きく改善いたしました。

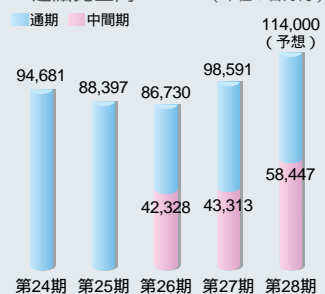
その他の事業

売上高 2,317百万円（前年同期比 3.5%） 営業利益 290百万円（前年同期比 51.5%）
当事業におきましては、飲食事業及び不動産事業の賃貸収入が主なものであり、当中間期においては、売上高が前年同期比3.5%減少し、売上原価率の上昇により営業利益は前年同期比51.5%の減少となりました。

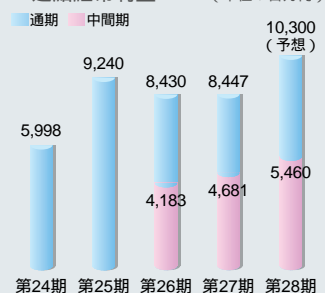
連結売上高構成比



連結売上高 (単位: 百万円)



連結経常利益 (単位: 百万円)



連結中間(当期)純利益 (単位: 百万円)



NEWサイバーDAM「DAM-G50II」

パワーアップしたサイバーDAM「DAM-G50II」



DAM-G50II BL + DAM-A100



DAM-G50II RD + DAM-A100

- | | |
|--------|---|
| 映像 | 歌手本人映像を従来の約3倍！ |
| 楽曲 | 毎月500曲を配信！ 総楽曲数3万5,000曲
(平成14年10月現在) |
| 信頼性 | システムバックアップ機能と故障通知システム！ |
| 将来性 | ブロードバンド対応で動画配信を可能に！ |
| ボディカラー | 高級感あふれるメタリックカラー「プラチナブルー」と「プレシャスレッド」 |

新型 パワーアンプ「DAM - A100」同時発売

- ・本物指向のアナログ方式採用で温かく厚みのある音を表現
- ・業界最大級180W(4 EIAJ)にパワーを強化
- ・当社従来モデル(DAM-A50)比約2/3にサイズダウン

Evolution

通信カラオケ機器の進化

カラオケを
音楽の楽し

「DK TRANSPORT SYSTEM」

新提案！バス・船舶用通信カラオケシステム

移動体向け本格的通信カラオケシステムを提案
さまざまな移動手段を楽しみに変えるシステム
振動・ほこり・湿度などの問題を解決
細部にわたる機器提案が可能



新たな市場開拓

Q 「DK TRANSPORT SYSTEM」とは

A カラオケルームやスナックに設置しているものと同等のハイスペックな業務用カラオケシステムをバス・船舶など移動体向けにシステム提案するものです。本体はもちろん、マイク、電源供給機器に至るまで提案が可能です。

Expansion

「デンモク」はカラオケリモコンのスタンダードへ！



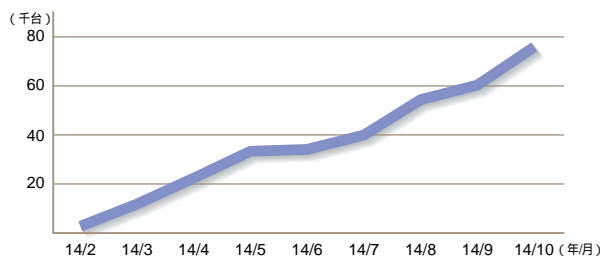
当社運営の「ビッグエコー」全店導入済み
平成14年10月末現在で約7万5,000台の出荷



デンモクは2002年度「グッドデザイン賞」
を受賞しました



電子目次本(デンモク)総出荷台数



Q 「デンモク」とは

A 従来の紙の目次本とカラオケリモコンの機能・内容を操作性抜群の電子端末に集約。歌手名、曲名検索はもちろん「あの頃(年齢/年代)検索」など選ぶ楽しさが満載！しかも印刷のタイムラグがなく、新譜の配信とほとんど同時にデータが更新されます。

マイソングを自分の携帯に。新しいカラオケの楽しみ方！



リモコンサテライト

「DAMリモこん」アプリの入手方法



平成14年10月から本格スタート
NTTドコモのiモード「504iシリーズ」対応
当社運営「ビッグエコー」など、リモコン
サテライト設置店で利用可能



Q 「DAMリモこん」とは

A NTTドコモのiモード「504iシリーズ」の持つ赤外線通信機能を利用し、「iアプリ」により、当社の通信カラオケ「DAM」にカラオケ予約ができるもの。自分の携帯電話で楽曲の検索ができ、「マイソングリスト」に得意な歌、よく歌う歌をあらかじめ登録しておけば、送信するだけで歌えます。また、毎週更新される「新譜リスト」から直接予約できるのも魅力です。

中間連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第28期中間	第27期中間	第27期
	平成14年9月30日現在	平成13年9月30日現在	平成14年3月31日現在
資 産 の 部			
流 動 資 産	47,419	50,943	48,250
現金及び預金	21,497	26,293	22,110
受取手形及び売掛金	15,132	13,566	14,740
有 価 証 券	10	11	9
た な 卸 資 産	7,018	6,458	7,376
そ の 他	5,074	5,655	5,413
貸 倒 引 当 金	1,313	1,042	1,400
固 定 資 産	81,092	80,405	82,825
有 形 固 定 資 産	48,592	47,948	48,077
建 物 及 び 構 築 物	11,130	12,159	11,924
土 地	17,042	17,078	17,054
そ の 他	20,419	18,710	19,098
無 形 固 定 資 産	7,986	5,848	8,148
投 資 そ の 他 の 資 産	24,513	26,608	26,599
投 資 有 価 証 券	2,878	5,019	4,337
差 入 敷 金 ・ 保 証 金	12,059	11,465	12,312
そ の 他	13,055	13,604	13,312
貸 倒 引 当 金	3,479	3,480	3,363
資 産 合 計	128,511	131,348	131,075

科 目	第28期中間	第27期中間	第27期
	平成14年9月30日現在	平成13年9月30日現在	平成14年3月31日現在
負 債 の 部			
流 動 負 債	39,756	41,388	44,213
支 払 手 形 及 び 買 掛 金	7,727	6,306	7,697
短 期 借 入 金	19,904	24,263	23,135
そ の 他	12,124	10,818	13,381
固 定 負 債	36,339	36,406	34,778
転 換 社 債	12,650	15,790	14,300
長 期 借 入 金	19,531	15,463	16,404
そ の 他	4,157	5,152	4,074
負 債 合 計	76,095	77,795	78,992
少 数 株 主 持 分			
少 数 株 主 持 分	1,559	4,625	2,169
資 本 の 部			
資 本 金	-	12,348	12,348
資 本 準 備 金	-	24,000	24,000
再 評 価 差 額 金	-	25,419	25,189
連 結 剰 余 金	-	38,558	38,889
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	-	678	352
為 替 換 算 調 整 勘 定	-	121	233
自 己 株 式	-	3	15
資 本 金	12,348	-	-
資 本 剰 余 金	24,000	-	-
利 益 剰 余 金	40,450	-	-
土 地 再 評 価 差 額 金	25,189	-	-
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	240	-	-
為 替 換 算 調 整 勘 定	155	-	-
自 己 株 式	668	-	-
資 本 合 計	50,856	48,928	49,914
負 債、少 数 株 主 持 分 及 び 資 本 合 計	128,511	131,348	131,075

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	第28期中間	第27期中間	第27期	対前年同期比
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	(%)
営業収入	58,447	43,313	98,591	134.9
営業費用	52,523	38,315	89,189	137.1
割賦販売未実現利益	37	89	106	41.7
営業利益	5,960	5,086	9,508	117.2
営業外収益	1,035	877	1,688	118.0
営業外費用	1,536	1,282	2,749	119.8
経常利益	5,460	4,681	8,447	116.6
特別利益	49	506	588	9.8
特別損失	1,155	1,202	2,256	96.1
税金等調整前中間(当期)純利益	4,354	3,985	6,779	109.3
法人税、住民税及び事業税	1,966	1,753	3,515	112.2
法人税等調整額	14	201	97	7.0
少数株主利益(又は損失)	48	121	138	39.8
中間(当期)純利益	2,325	1,908	3,304	121.9

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

(注)	第28期中間	第27期中間	第27期
1.有形固定資産の減価償却累計額	49,856百万円	50,484百万円	50,716百万円
2.保証債務	1,192百万円	1,684百万円	1,329百万円
3.担保提供資産	22,154百万円	22,499百万円	22,550百万円
上記に対応する債務	22,413百万円	19,803百万円	21,271百万円
4.1株当たり中間(当期)純利益	127円75銭	101円79銭	176円39銭
5.1株当たり株主資本	2,825円74銭	2,609円67銭	2,726円97銭

中間連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科目	第28期中間	第27期中間	第27期
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
連結剰余金期首残高	-	37,782	37,782
連結剰余金減少高	-	-	-
配当金	-	656	656
役員賞与	-	88	88
再評価差額金取崩額	-	11	241
自己株式消却額	-	-	836
連結子会社の合併による減少高	-	375	375
計	-	1,131	2,197
中間(当期)純利益	-	1,908	3,304
連結剰余金中間期末(期末)残高	-	38,558	38,889
資本剰余金の部			
資本剰余金期首残高	24,000	-	-
資本剰余金中間期末残高	24,000	-	-
利益剰余金の部			
利益剰余金期首残高	38,889	-	-
利益剰余金増加高	-	-	-
中間純利益	2,325	-	-
利益剰余金減少高	-	-	-
配当金	658	-	-
役員賞与	105	-	-
計	764	-	-
利益剰余金中間期末残高	40,450	-	-

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	第28期中間	第27期中間	第27期
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	8,623	7,215	14,810
投資活動による キャッシュ・フロー	5,943	4,678	11,206
財務活動による キャッシュ・フロー	2,978	1,062	5,638
現金及び現金同等物の 中間期末(期末)残高	20,019	23,687	20,317

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

科 目	第28期中間	第27期中間	第27期
	平成14年9月30日現在	平成13年9月30日現在	平成14年3月31日現在
資 産 の 部			
流 動 資 産	24,298	28,600	24,128
現金及び預金	8,240	14,878	9,043
受取手形	2,088	1,819	2,058
売掛金	6,657	6,049	6,160
たな卸資産	4,101	3,725	4,698
その他	3,756	2,750	2,692
貸倒引当金	545	622	525
固 定 資 産	56,060	50,883	57,331
有形固定資産	22,041	21,432	21,324
建物	5,093	5,462	5,279
土地	6,051	6,039	6,051
その他	10,897	9,930	9,994
無形固定資産	6,459	5,243	6,204
投資その他の資産	27,558	24,207	29,802
関係会社株式	8,112	3,143	7,857
長期貸付金	6,249	5,832	7,067
差入敷金・保証金	9,141	8,573	9,233
その他	8,541	11,128	10,039
貸倒引当金	4,485	4,471	4,395
資 産 合 計	80,358	79,483	81,459

科 目	第28期中間	第27期中間	第27期
	平成14年9月30日現在	平成13年9月30日現在	平成14年3月31日現在
負 債 の 部			
流 動 負 債	16,686	17,153	19,318
支払手形	1,935	3,104	3,152
買掛金	2,401	2,422	1,938
短期借入金	5,571	5,801	6,788
未払金	4,023	3,192	4,530
未払法人税等	1,028	1,177	1,423
その他	1,726	1,454	1,485
固 定 負 債	21,149	20,288	19,826
転換社債	12,650	15,790	14,300
長期借入金	7,135	3,198	4,176
その他	1,364	1,300	1,350
負 債 合 計	37,836	37,441	39,145
資 本 の 部			
資 本 金	-	12,348	12,348
資 本 準 備 金	-	24,000	24,000
利 益 準 備 金	-	485	485
再 評 価 差 額 金	-	25,419	25,189
そ の 他 の 剰 余 金	-	31,304	31,036
任意積立金	-	29,450	29,450
中間(当期)未処分利益	-	1,854	1,586
その他有価証券評価差額金	-	673	351
自 己 株 式	-	3	15
資 本 金	12,348	-	-
資 本 剰 余 金	24,000	-	-
資本準備金	4,000	-	-
その他資本剰余金	20,000	-	-
利 益 剰 余 金	32,269	-	-
任意積立金	29,750	-	-
中間未処分利益	2,519	-	-
土地再評価差額金	25,189	-	-
その他有価証券評価差額金	237	-	-
自 己 株 式	668	-	-
資 本 合 計	42,522	42,041	42,314
負 債 ・ 資 本 合 計	80,358	79,483	81,459

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間単体損益計算書の要旨

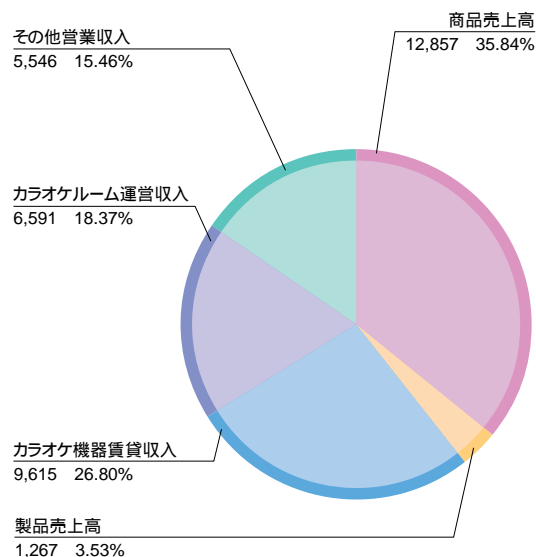
(単位：百万円)

科 目	第28期中間	第27期中間	第27期	対前年同期比
	平成14年4月1日から 平成14年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成13年9月30日まで	平成13年4月1日から 平成14年3月31日まで	(%)
営 業 収 入	35,879	31,433	65,489	114.1
営 業 費 用	32,546	28,164	59,461	115.6
割賦販売未実現利益	2	50	135	4.7
営 業 利 益	3,330	3,219	5,892	103.4
営 業 外 収 益	724	445	873	162.8
営 業 外 費 用	345	830	1,434	41.5
経 常 利 益	3,709	2,833	5,332	130.9
特 別 利 益	33	520	546	6.4
特 別 損 失	1,299	932	1,634	139.3
税引前中間(当期)純利益	2,444	2,421	4,244	100.9
法人税、住民税及び事業税	929	1,006	2,036	92.4
法人税等調整額	77	193	188	40.3
中間(当期)純利益	1,436	1,221	2,019	117.6
利益準備金取崩額	485	-	-	
前期繰越利益	598	644	644	
再評価差額金取崩額	-	11	241	
自己株式消却額	-	-	836	
中間(当期)未処分利益	2,519	1,854	1,586	

記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

単体売上高構成比

(単位：百万円)



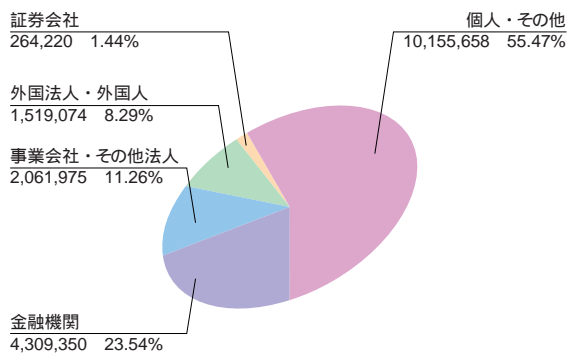
(注)

	第28期中間	第27期中間	第27期
1. 有形固定資産の減価償却累計額	23,401百万円	23,221百万円	23,520百万円
2. 1株当たり中間(当期)純利益	78円92銭	65円16銭	107円82銭
3. 1株当たり株主資本	2,362円69銭	2,242円38銭	2,311円78銭

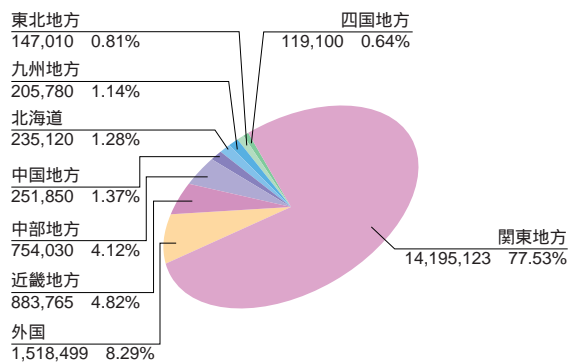
株式の状況 (平成14年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数..... 59,560,000株
 発行済株式の総数..... 18,310,277株
 株主数..... 11,961名

所有者別株式分布 (株式数比率 / 単位: 株)

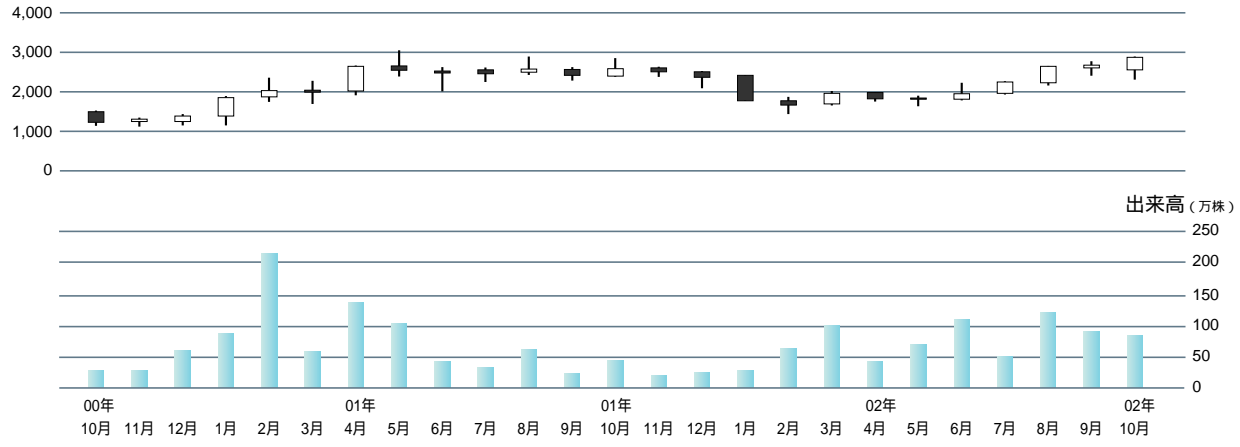


地域別株主分布 (株式数比率 / 単位: 株)



株価(月足)チャート

株価の推移 (単位: 円)



会社概要

(平成14年9月30日現在)

商号 株式会社 第一興商
 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
 所在地 〒141-8701 東京都品川区北品川 5-5-26
 TEL.(03) 3280-2151 (大代表)
 設立 1973年4月16日
 資本金 12,348百万円
 従業員数 当社 1,215名
 グループ 2,845名
 店頭登録 1995年9月19日
 ホームページアドレス <http://www.dkkaraoke.co.jp/>



役員

(平成14年9月30日現在)

役職	氏名	役職	氏名
社長 (代表取締役)	保 志 忠 彦	執行役員	有 馬 伸 治
専務取締役 兼 上席執行役員	米 田 龍 佳	執行役員	檜 原 敬
専務取締役 兼 上席執行役員	鈴 木 富 夫	執行役員	保 志 幸
常務取締役 兼 上席執行役員	輿 水 慎 一	執行役員	林 三 郎
常務取締役 兼 上席執行役員	松 川 伸 一	執行役員	緑 川 智 博
常務取締役 兼 上席執行役員	三 野 浩 一	執行役員	鈴 木 康 之
常勤監査役	石 川 樹 一	執行役員	田 原 弘 恒
常勤監査役	田 村 晴 彦	執行役員	畑 本 英 爾
監査役	高 橋 久 美	執行役員	山 本 裕 治
監査役	有 近 真 澄	執行役員	貞 末 俊 一

第一興商グループ 当社及び連結子会社 (平成14年9月30日現在)

主な事業内容：業務用カラオケ事業 / カラオケルーム運営事業 / コンテンツ事業 / 音楽ソフト事業

38 社

国内販売子会社 23社

(株)北海道第一興商 (株)城北第一興商 (株)コスモ第一興商
 (株)釧路第一興商 (株)台東第一興商 (株)第一興商近畿
 (株)小樽第一興商 (株)城東第一興商 (株)京都第一興商
 (株)道南第一興商 (株)第一興商販売 (株)ハリマ第一興商
 (株)東北第一興商 (株)湘南第一興商 (株)京阪第一興商
 (株)常磐第一興商 (株)長野第一興商 (株)姫路第一興商
 (株)群馬第一興商 (株)新潟第一興商 (株)九州第一興商
 (株)北関東第一興商 (株)東海第一興商

その他国内子会社 7社

(株)ディーケーファイナンス
 (株)ガウスエンタテインメント
 日本クラウン(株)
 (株)徳間ジャパンコミュニケーションズ
 (株)ファーストディストリビューション
 (株)ディーケー音楽出版
 丸萩洋酒工業(株)

海外子会社 8社

(株)韓国第一興商
 第一興商(上海)電子有限公司
 上海綜藝音楽娛樂有限公司
 Saha Daiichi Kosho Co.,Ltd.
 D. K. Enterprises (Guam), Inc.
 信昇(香港)有限公司
 第一興商(香港)有限公司
 Daiichi Kosho (Singapore) Pte Ltd.

(注) 1. Daiichi Kosho(Singapore)Pte Ltd. は休眠会社であります。
 2. 第一興商(上海)電子有限公司は平成14年8月に、(株)ファーストディストリビューションは平成14年9月に新たに設立いたしました。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
上記基準日	定時株主総会については3月31日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金については3月31日 中間配当金については9月30日(当期は中間配当を実施しておりません。)
1単元の株式数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒100-8212 東京都千代田区永田町二丁目11番1号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同連絡先 (郵便物送付先) (電話照会先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部 電話 03 6391-1900 (代表)
	(注)上記名義書換代理人住所および同事務取扱場所は、 平成15年5月6日に次の場所へ移転いたします。 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 (なお、名義書換代理人連絡先の住所および電話番号は変更ございません。)
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
証券・銘柄コード	7458

<お知らせ>

- 住所変更、配当金振込指定・変更、単元未満株式買取請求に必要な各用紙、および株式の相続手続依頼書のご請求は、名義書換代理人のフリーダイヤル0120-86-4490で24時間承っておりますので、ご利用ください。
- 配当金を郵便貯金口座へお振込みすることができるようになりました。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので名義書換代理人に指定書用紙をご請求ください。

